

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地



照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

中小企業景気動向調査 2023年7月～9月期 NO. 72

【概況】 2023年7月～9月期の業況は4.6、前期比 5.2ポイントマイナスと前期を下回りました。
来期は両地域とも上向き見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2023年4月 ～6月期	2023年7月 ～9月期	2023年10月～ 12月期予想	2023年4月 ～6月期	2023年7月 ～9月期	2023年10月～ 12月期予想	2023年4月 ～6月期	2023年7月 ～9月期	2023年10月～ 12月期予想
業況	9.8	4.6	9.4	5.5	3.7	10.8	13.4	4.7	7.3
売上額	18.2	12.9	12.9	13.2	12.5	13.6	20.7	13.5	10.2
収益	7.3	6.0	8.5	2.9	8.5	9.9	11.6	2.9	5.5
販売価格	24.9	21.4	16.2	24.6	23.2	17.3	21.0	19.6	14.2
仕入価格	46.5	41.4	33.5	50.0	46.1	37.5	40.4	35.8	27.7
在庫	2.2	0.9	▲ 0.4	2.9	5.4	1.0	▲ 1.0	▲ 3.6	▲ 1.5
資金繰り	▲ 2.8	1.8	18.6	▲ 2.2	4.0	21.0	▲ 1.4	0.7	14.2
人手	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 23.6	▲ 26.6	▲ 26.6	▲ 28.4	▲ 14.6	▲ 16.4	▲ 17.9
設備状況	▲ 10.3	▲ 9.2	▲ 10.0	▲ 10.3	▲ 10.0	▲ 11.4	▲ 9.0	▲ 6.9	▲ 6.4

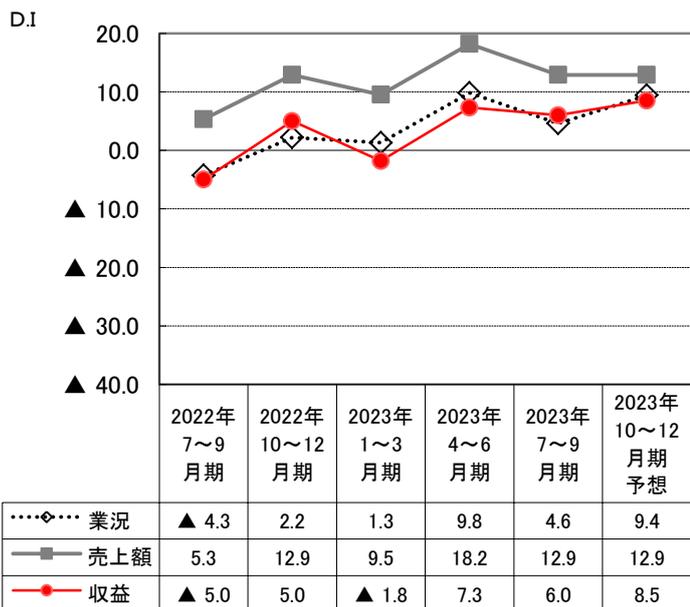
2023年7月～9月期実績

《 建設業で上向き 》
当期の全地域の全業況D.Iは4.6、前期比5.2ポイントマイナスと前期を下回りました。全地域の業種別では、建設業において上向きました。

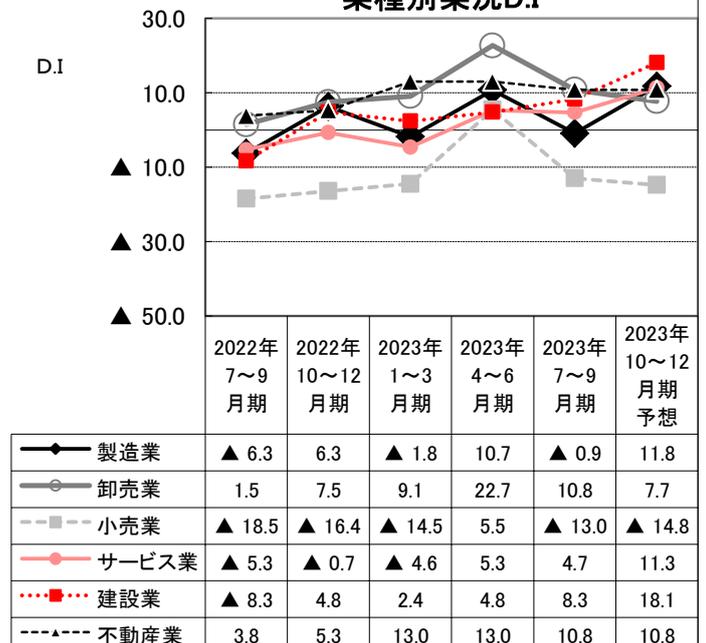
2023年10月～12月期見通し

《 両地域とも上向き見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは9.4、当期比4.8ポイントプラスと回復に向かう見通しです。全地域の業種別では、卸売業、小売業において低迷する見通しです。地域別では、両地域とも上向き見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2023年9月上旬

3. 調査対象期間

2023年7月～9月期実績（2023年4月～6月期との比較）

2023年10月～12月期予想（2023年7月～9月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

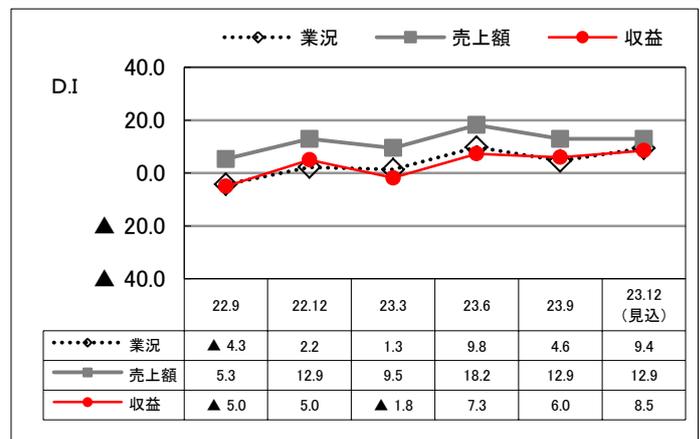
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	112	100.0%
卸売業	67	66	98.5%
小売業	55	55	100.0%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	599	99.8%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは4.6、前期比5.2ポイントマイナス（前年同期比+8.9）と前期を下回りました。業種別では、建設業において上向きしました。

来期予想D.Iは9.4、当期比4.8ポイントプラスと回復に向かう見通しです。業種別では、卸売業、小売業において低迷する見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは12.9、前期比5.3ポイントマイナス（前年同期比+7.6）と増加幅が縮小しました。業種別では、卸売業、サービス業において上向きしました。

来期予想D.Iは12.9、当期と横ばいで推移する見通しです。業種別では、卸売業、サービス業、建設業において上向き見通しです。

3. 収益

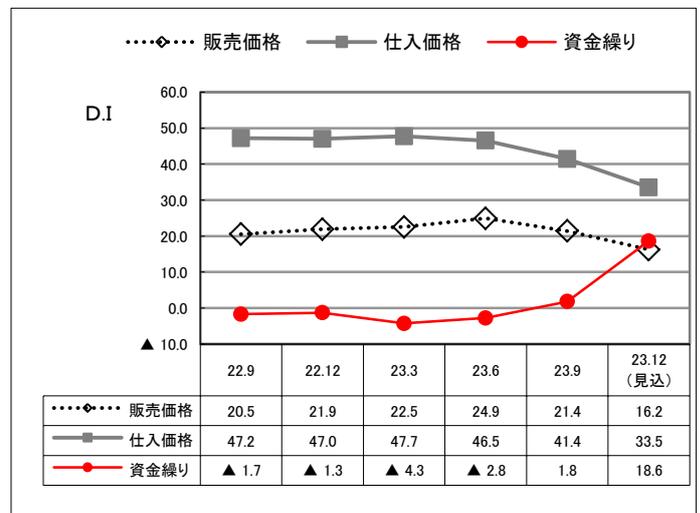
全業種における収益D.Iは6.0、前期比1.3ポイントマイナス（前年同期比+11.0）と増加幅が縮小しました。業種別では、卸売業、サービス業において改善しました。

来期予想D.Iは8.5、当期比2.5ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。業種別では、サービス業、建設業以外の業種において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは1.8、前期比4.6ポイントプラス（前年同期比+3.5）と窮屈感を脱しました。業種別では、製造業において厳しさが増しました。

来期予想D.Iは18.6、当期比16.8ポイントプラスと容易になる見通しです。業種別では、全業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは21.4、前期比3.5ポイントマイナス（前年同期比+0.9）と上昇幅が縮小しました。業種別では、小売業、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは16.2、当期比5.2ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業において上昇する見通しです。

6. 仕入価格

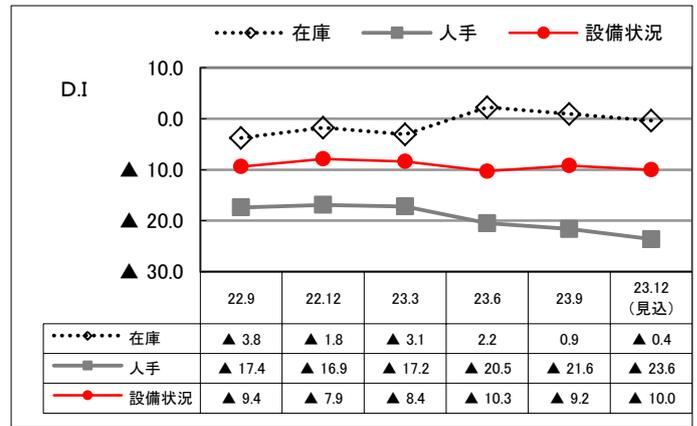
全業種における仕入価格D.Iは41.4、前期比5.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲5.8）と上昇幅が縮小しました。業種別では、不動産業において上昇しました。

来期予想D.Iは33.5、当期比7.9ポイントマイナスとさらに上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D. Iは0.9、前期比1.3ポイントマイナス（前年同期比+4.7）と過剰感が改善されました。業種別では、製造業で過剰感が改善されました。

来期予想D. Iは▲0.4、当期比1.3ポイントマイナスと過剰から品薄へと転じる見通しです。業種別では、製造業、卸売業で過剰感が改善される見通しです。



8. 人手

全業種における人手D. Iは▲21.6、前期比1.1ポイントマイナス（前年同期比 ▲4.2）と不足感が強まりました。業種別では、サービス業、建設業、不動産業で不足感が強まりました。

来期予想D. Iは▲23.6、当期比2.0ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、卸売業、サービス業、不動産業で不足感が強まる見通しです。

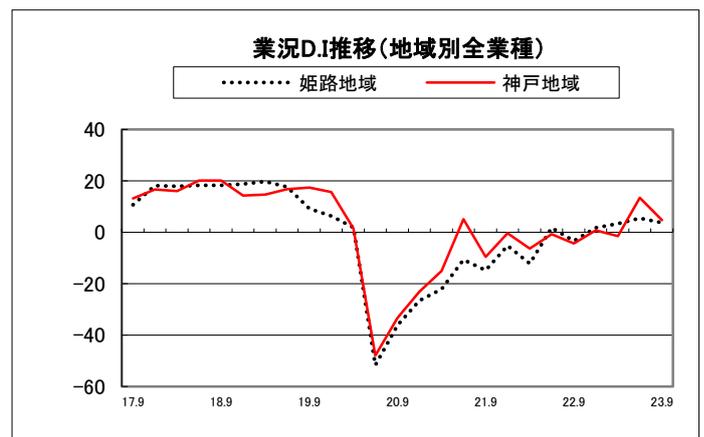
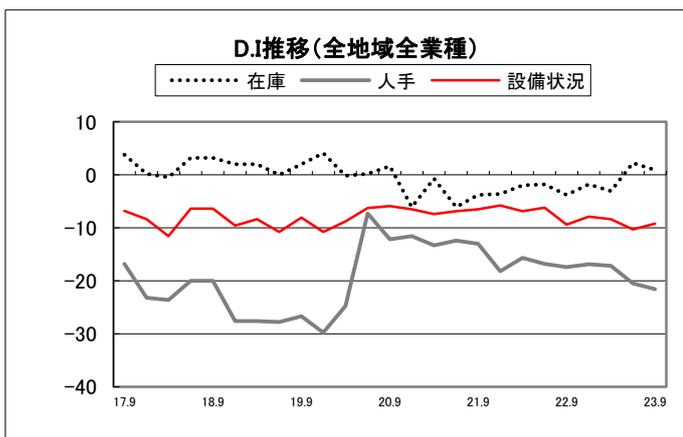
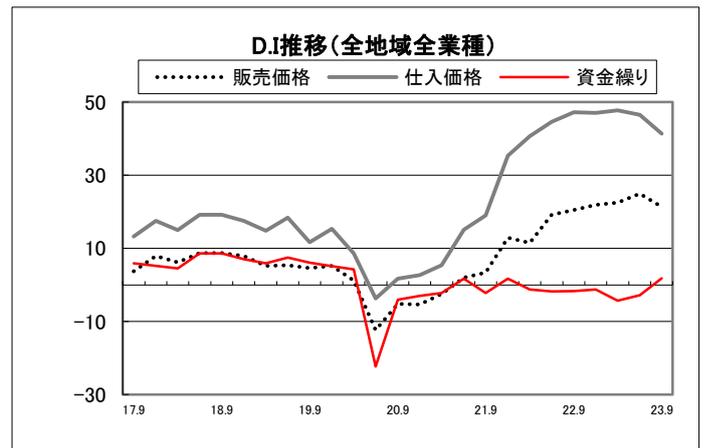
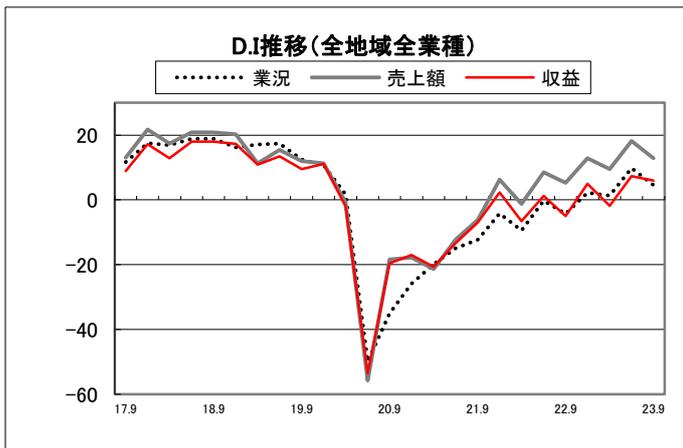
9. 設備状況

全業種における設備状況D. Iは▲9.2、前期比1.1ポイントプラス（前年同期比+0.2）と改善しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は29.9%、前期比4.4ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.7）と減少しました。また業種別では、製造業、小売業において設備投資を行った企業の割合が増加しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は32.9%、当期比3.0ポイントプラスと増加する見通しです。

過去D. I推移



1. 業況

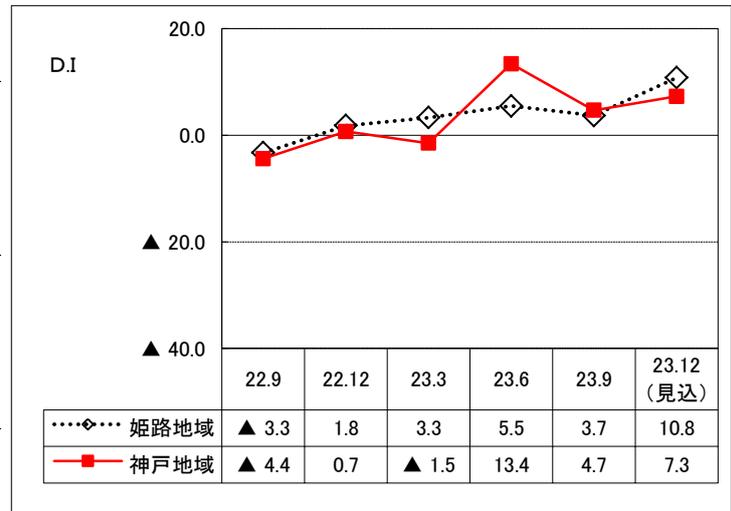
姫路地域の業況D. Iは3.7、前期比1.8ポイントマイナス（前年同期比+7.0）と前期を下回りました。

来期予想D. Iは10.8、当期比7.1ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

神戸地域の業況D. Iは4.7、前期比8.7ポイントマイナス（前年同期比+9.1）と前期を下回りました。

来期予想D. Iは7.3、当期比2.6ポイントプラスと回復に向かう見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも前期を下回りました。



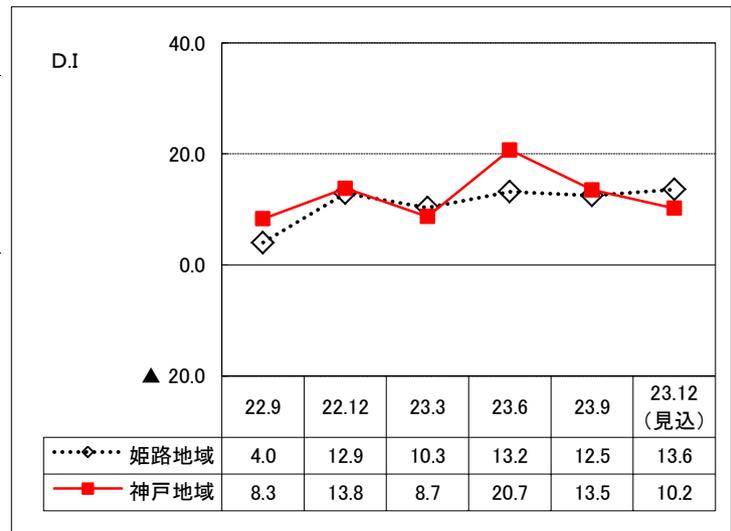
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは12.5、前期比0.7ポイントマイナス（前年同期比+8.5）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは13.6、当期比1.1ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは10.2、前期比7.2ポイントマイナス（前年同期比+5.2）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは10.2、当期比3.3ポイントマイナスとさらに増加幅が縮小する見通しです。



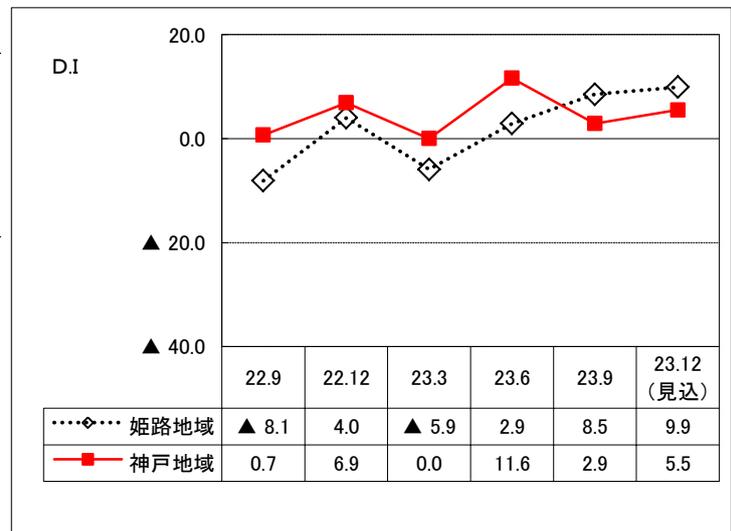
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは8.5、前期比5.6ポイントプラス（前年同期比+16.6）と好調さを強めました。

来期予想D. Iは9.9、当期比1.4ポイントプラスとさらに堅調に推移する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは2.9、前期比8.7ポイントマイナス（前年同期比+2.2）と増加幅が縮小しました。

来期予想D. Iは5.5、当期比2.6ポイントプラスと堅調に推移する見通しです。

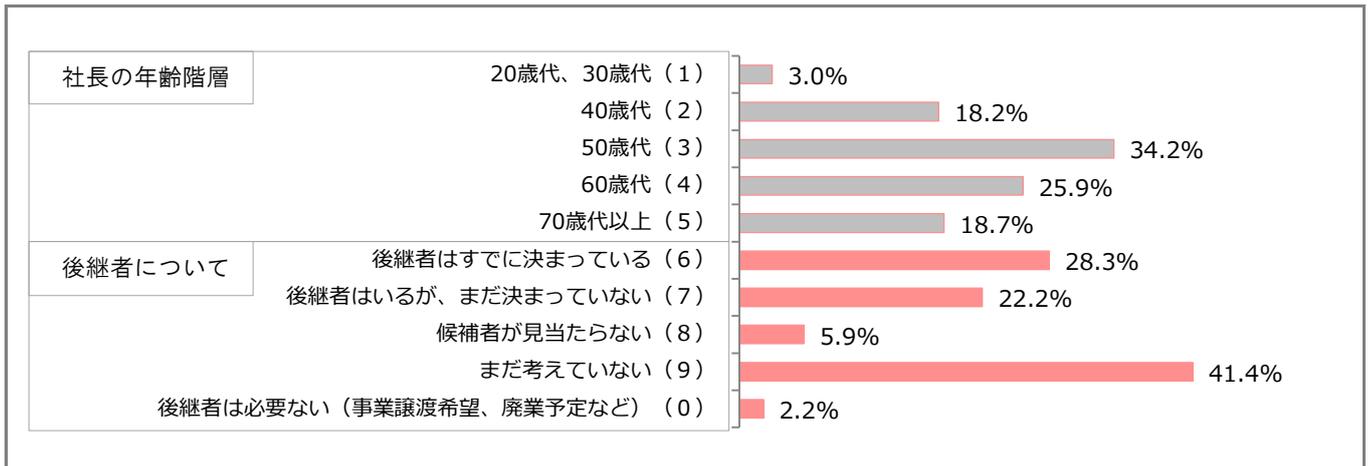


「中小企業の将来を見据えた事業承継について」

回答により合計が100%とならない場合があります。

問1

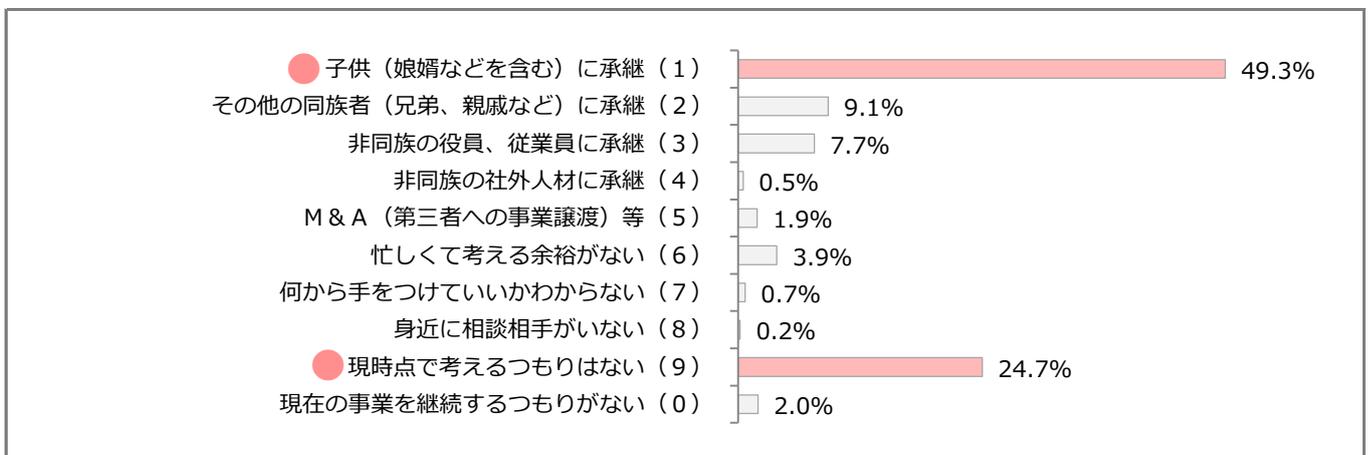
貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか。次の1～5の中から1つ選んでお答えください。また、貴社の後継者問題について最も当てはまるものを6～0の中から1つ選んでお答えください。



「貴社の社長（代表者）の年齢階層はいずれに属しますか」については「50歳代」が最多回答、「貴社の後継者問題について最も当てはまるもの」については「まだ考えていない」が最多回答でした。

問2

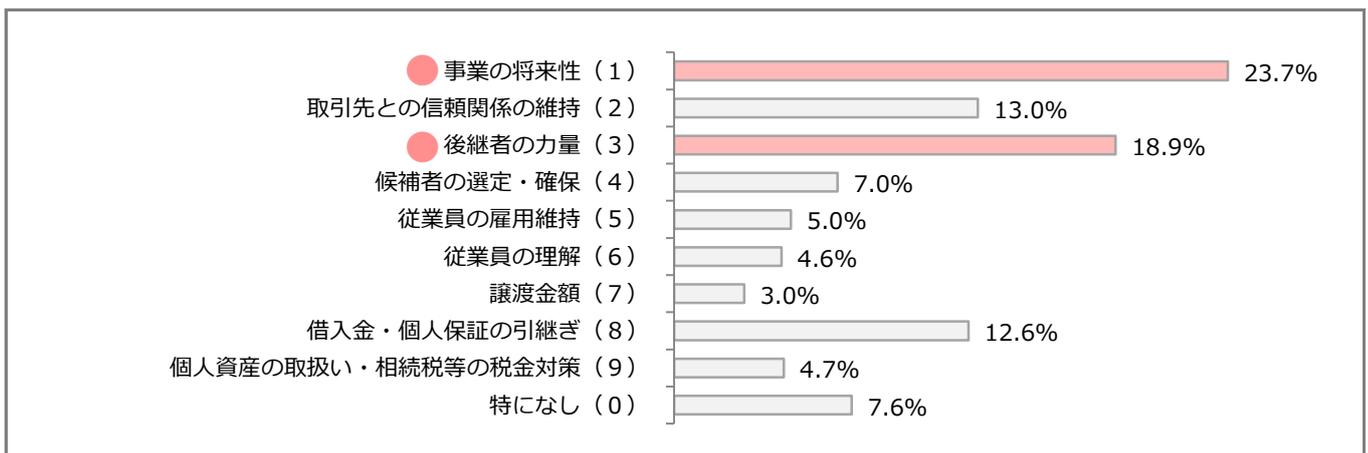
貴社の現時点における事業承継の考え方について最も当てはまるものを、次の1～0の中から1つ選んでお答えください。



「現時点における事業承継の考え方について」では「子供（娘婿などを含む）に承継」が最多回答、次いで「現時点で考えるつもりはない」という結果でした。

問3

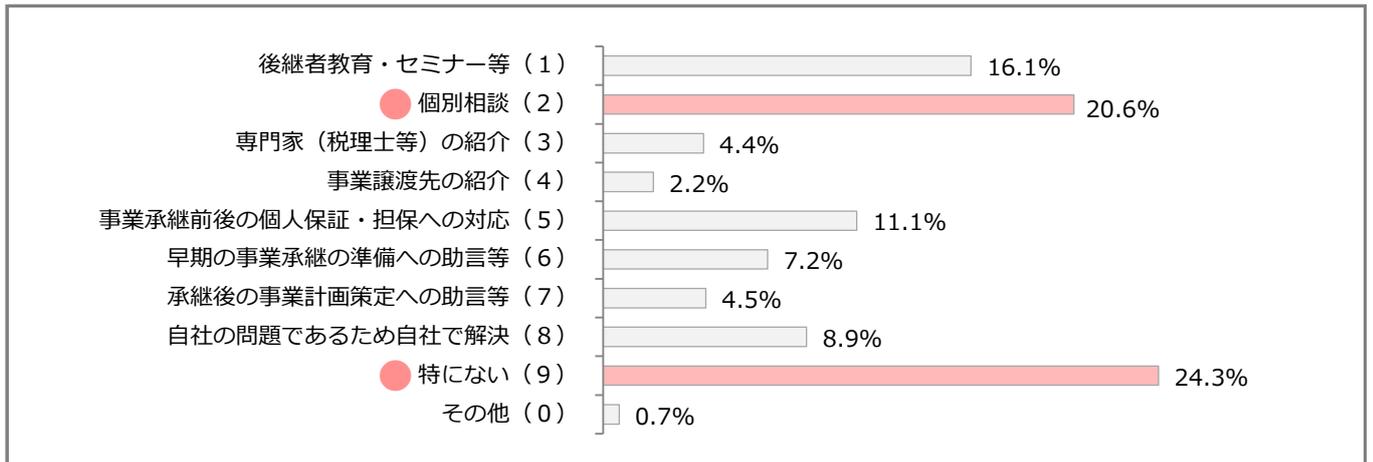
貴社では事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。次の1～0の中から3つ以内で選んでお答えください。



「事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか」について、「事業の将来性」が最多回答、次いで「後継者の力量」という結果でした。

問4

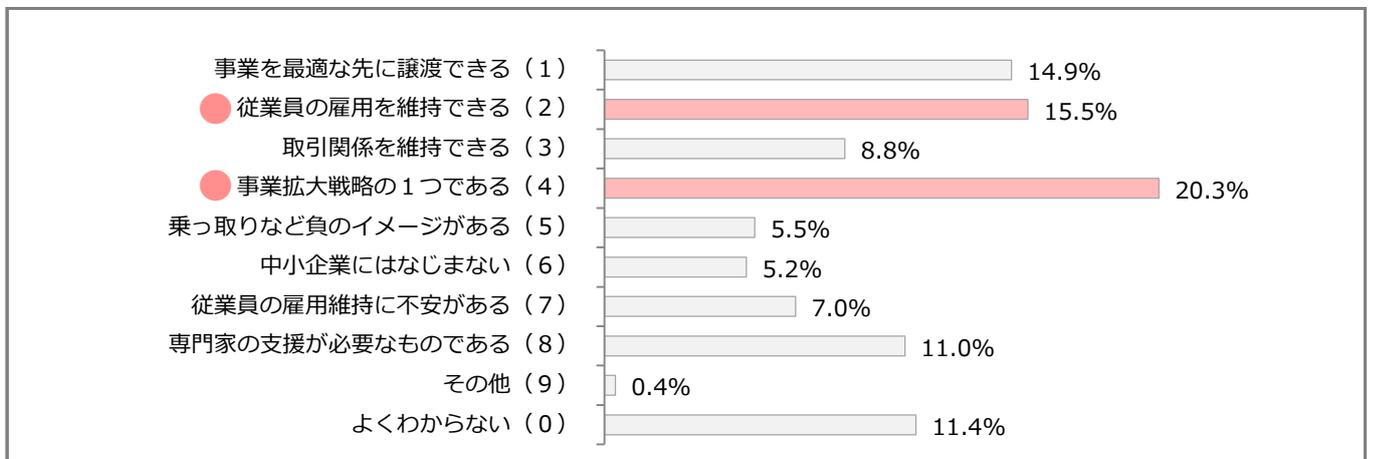
中小企業が円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫には何を期待しますか。信用金庫に対して期待していること、もしくは今後期待したいことについて、最もあてはまるものを次の1~0の中から1つ選んでお答えください。



「円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に対して期待していること、今後期待したいこと」について、「特にない」が最多回答、次いで「個別相談」という結果でした。

問5

近年、中小企業におけるM&A（第三者への事業譲渡）が話題になっていますが、M&Aについてどのような認識を持っていますか。下記の1~0の中から3つ以内で選んでお答えください。



「M&Aについてどのような認識を持っていますか」について、「事業拡大戦略の1つである」が最多回答、次いで「従業員の雇用を維持できる」という結果でした。